



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEE

'00 5月号

15年ぶりの刊行

ガイドブック17 「平塚の遺跡」

旧石器・縄文・弥生・古墳編



昭和60年に刊行した「平塚の遺跡 見つける・調べる・歩く」は、数年前に完売となりました。以後、市民の皆様から、早く考古学の入門書的な冊子が欲しいとの声を聞くたびに、申し訳なく思っていました。ようやく待望の一冊を発刊いたします。

本書は、前回の内容とは全く異なり、旧石器・縄文・弥生・古墳時代の平塚市を代表する55遺跡（42遺跡55地点）を、写真や図を豊富に利用して分かりやすく紹介しました。縄文時代中期初頭に設定された「五領ヶ台式土器」を出土した国指定史跡五領ヶ台貝塚、層位学的な編年研究の先鞭となった縄文時代の万田貝塚、弥生時代中期中葉の集落が発見された王子ノ台遺跡、砂丘で初めて弥生時代の集落が発見された厚木道遺跡、三角縁神獣鏡を出土した南関東を代表する古墳時代前期の真土大塚山古墳、河川を対象としたまつり

が行われた古墳時代の沢狭遺跡など、平塚の古代を知る上で貴重な遺跡を掲載しました。どうぞ、家庭に1冊置いて、古代の歴史を楽しんで下さい。

なお、もっと詳しく知りたい方は『平塚市史11 上別編 考古(1)』が刊行されていますので、合わせてご利用ください。さらにロマンが膨らむはずです。

*本屋さんには置いてありません。購入ご希望の方は博物館受付でお求め下さい(郵送可。送料別)。850円。『市史』は4000円。



まつりに使われた道具。小型の土器や、鏡・勾玉を石で表現しています。古代人の祈り・願いと。現代社会に通じるか。

(南原C遺跡・古墳時代)

村井弦斎(上)

村井弦斎（むらいげんさい）は、本名を村井寛（ゆたか）といい旧吉田藩家臣村井清の長男として、文久3年（1863）の12月18日に豊橋で生まれます。村井家は代々吉田藩の要職を勤める家柄でしたが、父清が34歳の折り、維新の動乱期に生じた失政から隠居を命じられ、弦斎は、慶応4年（明治元年1868）僅か5歳で村井家を継ぎました。

明治5年3月、弦斎の学向き修業を理由に村井家は一家をあげて上京します。そして、下谷区北大門町に住み、弦斎は東京転住後の5月、小学第五校に入学することになります。翌6年1月、この小学校を退校。退校後、すぐにニコライ堂で有名な駿河台学校に入学して、ニコライ教師に就き露西亜語を学びます。その後、明治7年3月、前年に創立された東京外国語学校（現東京外国語大学）露語学に入学し、体調を崩し、明治14年に退学するまでの7年間、この外国語学校で学びます。



左の写真中央の人物は、明治7年、弦斎11歳の時のもので、外国語学校入学時の記念写真です。写真に写る両脇の人物は、外国語学校の同級生ですが、弦斎に比べ両人とも弦斎より7・8歳も年上であり、当時、外国語学校に入学した生徒の中では、弦斎が最も年少の学生であったことがわかります。弦斎は外国語学校在学中、特に明治11年（15歳の時）には貸費生（特待生）となり寄宿舎に入寮しました。そして、翌12年には露語学上等二級の首席となりますが、明治14年（18歳の時）2月、病に倒れ外国語学校を退学してしまいます。

退学の後、弦斎は露書の翻訳と独学を続け、明治15年6月からは、6ヶ月間、北海道の函館・江差を旅行し、その帰途、宮城、山形、福島を巡ります。この旅行は、かつての外国語学校の同級生・同窓生を訪ね歩いたもので、その旅行の目的は、単なる物見遊山ではなく、旅の途中で県庁などに立ち寄り調べものを行っているところから、調査旅行であったことがわかります。この旅の途中、弦斎は、当時、経済の専門雑誌として著名な「東京経済雑誌」に、『人世必要の学問を論ず』と題する論文を函館から投稿します。この原稿は、その後、明治15年12月30日付「東京経済雑誌」第144号に掲載されます。この著作は、今日知られる弦斎の多くの著作のなかにあって、最も早い時期の著作であり、処女作といえるものになっています。弦斎19歳の時のことです。

明治16年、弦斎20歳の時、一大転機が訪れます。この年の正月、弦斎は、立憲改進黨の機関新聞である「同盟改進黨新聞」の同盟社員に加入し、さらに、同じ月、立憲改進黨の機関雑誌である「明治協会雑誌」会員となります。

これらの会員となる中で弦斎は、後に郵便報知新聞社主となる矢野文雄（龍溪）と出会うのでした。

（以下次号）

夏期特別展「村井弦斎展」7月7日(金)～8月31日(木)

於：平塚市博物館特別展示室

今月のプラネタリウム話題

さよなら、お月さま



この季節、大気は比較的安定し、望遠鏡で月を眺めるには良い季節です。月はなぜ満ち欠けするのか、月のもようはなぜ毎日変わらないか、月面には望遠鏡で何が見えるか、いたずら毛虫と女の子のストーリーの中で紹介して行きます。夏休み直前の7月16日(日)の晩には皆既月食もあります。

(昨年夏休みの投影のリバイバルです)



投影日：毎週土、日曜日(休館日を除きます)

投影時刻：11:00 14:00 より約50分

(途中からは入れません)

観覧料：ひとり100円

投影期間：7月16日まで

(ただし七夕期間中は別内容の予定です)

う~ん、見えるかな？

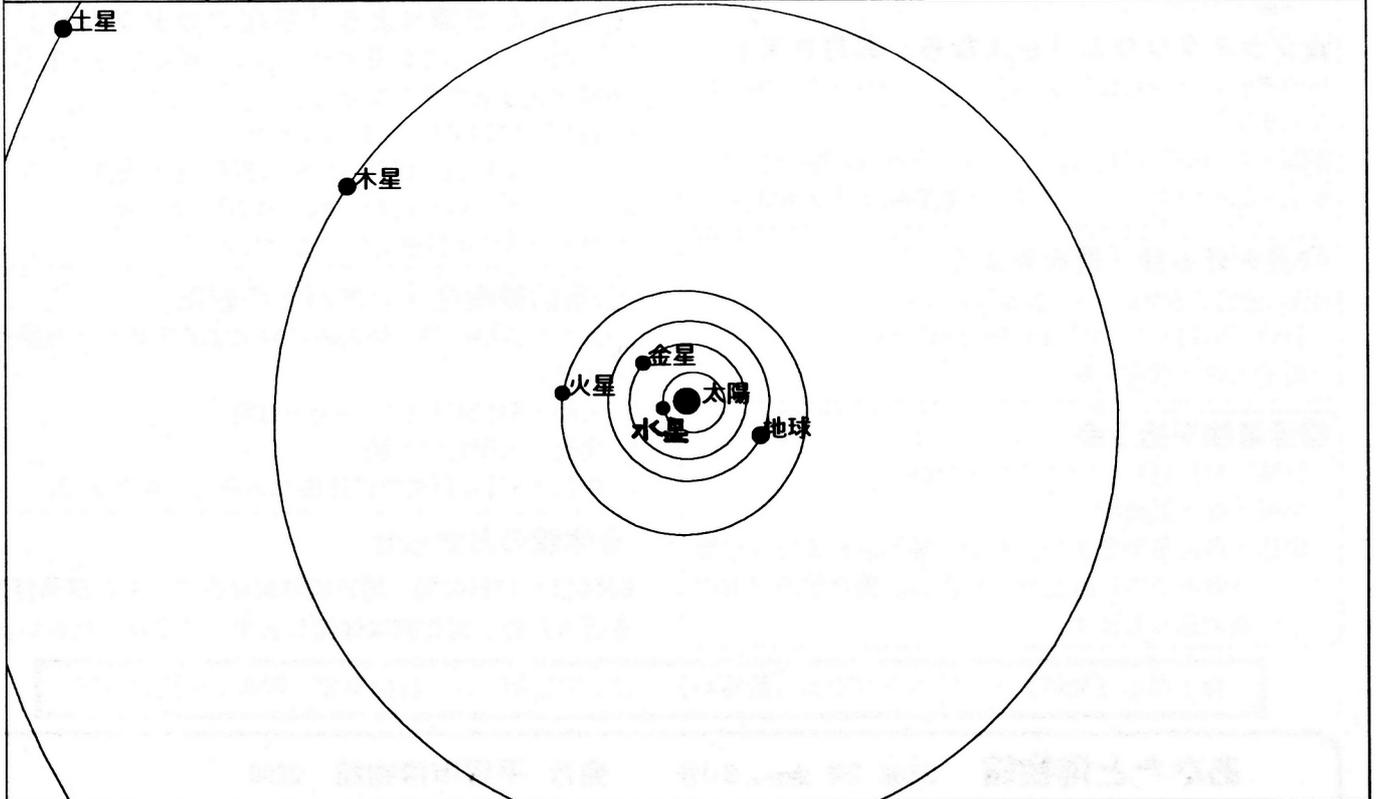
金星・木星の大接近

5月17日、木星と金星が見かけ上ほとんどくっつくような大接近をします。惑星の中でも明るい2星ですから、すばらしい眺めになりそうなのですが、残念なことに太陽が近いため、これらが昇ってから日の出まで15分ほどしかなく、しかも日の出時の高さは東の地平線から2~3°しかありません。これでは見つけるのも困難かもしれません。

実はこのとき接近しているのはこの2星だけではありません。図を見てわかるとおり、土星までの惑星は、地球だけを残してみな太陽のむこうがわに行ってしまう

っているのです。これを指して「惑星直列」と呼ぶ人もあるようです。図形的には「おおっ！」という感じですが、これらの惑星の重力が地球に及ぼす影響は、日夜繰り返される月と太陽の潮汐力などとはくらべものにならないほど小さく、異変などを心配する必要はありません。ただ「みな太陽の方に集まって見える」だけです。いっそのこと、太陽がなければ本当に美しい眺めになるのにと、私は思ってしまうます。もっとも、彼らの輝きは太陽光の反射なので、太陽がなかったら光らないわけですが...

AD 2000/ 5/17(Wed) 9:00:00 JST 16.8AU



博物館カレンダー

2000年5月

3	水	☆ 寄贈品コーナー「自然新資料」 (~6月4日)	展示室
6	土	天体観察会「星の写真」	函 南
7	日	地質調査会	野 外
		天体観察会「星の写真」	函 南
11	木	石仏を調べる会	野 外
		プラネタリウム「幼稚園投影」 (~7月13日)	プラネ室
12	金	古文書講読会	講 堂
		◎ 星を見る会「月を見よう」	屋 上
13	土	◎ 漂着物を拾う会	虹ヶ浜
		地質調査会	特研究室
17	水	裏打ちの会	科学室
19	金	古文書講読会	講 堂
20	土	○ みんなで調べよう「カタツムリ」	科学室
21	日	◎ ろばたばなしの会	展示室
23	火	展示解説ボランティアの会	特研究室
24	水	展示解説ボランティアの会	特研究室
		地質調査会	特研究室
25	木	展示解説ボランティアの会	特研究室
		石仏を調べる会	特研究室
26	金	古文書講読会	講 堂
27	土	空襲と戦災を記録する会	特研究室
		相模川の生い立ちを探る会	野 外
28	日	古代遺跡を探す会	横須賀
		民俗探訪「城前寺傘焼き祭り」	小田原
		○ 自然観察会「アオバトの観察」	照ヶ崎

2000年6月

1	木	☆ 寄贈品コーナー「自然新資料」 (~6月4日)	展示室
2	金	古文書講読会	講 堂
6	火	★ 全館燻蒸(6月15日まで休館!)	全 館
8	木	石仏を調べる会	野 外
10	土	◎ 漂着物を拾う会	虹ヶ浜
		地質調査会	野 外
		天体観察会「水星」	野 外
11	日	○ みんなで調べよう「カタツムリ」	野 外
16	金	古文書講読会	講 堂
		☆ 寄贈品コーナー「七夕50周年展」 (~7月11日)	展示室
18	日	◎ ろばたばなしの会	展示室
		相模川の生い立ちを探る会	野 外
20	火	展示解説ボランティアの会	特研究室
21	水	裏打ちの会	科学室
		展示解説ボランティアの会	特研究室
22	木	展示解説ボランティアの会	特研究室
		石仏を調べる会	特研究室
23	金	古文書講読会	講 堂
24	土	空襲と戦災を記録する会	特研究室
		地質調査会	科学室
25	日	古代遺跡を探す会	科学室
		○ こども観察会「アオバト」	照ヶ崎
28	水	地質調査会	特研究室

☆寄贈品コーナー「新しい資料<自然資料>」

最近の収集資料から自然分野の品を紹介します。

会期：5月3日(土)~6月4日(日)

☆プラネタリウム「さよなら、お月さま」

月の満ち欠けや月食について、ストーリーとともに紹介します。

期間：7月16日(日)まで(七夕期間中は別内容)

*土・日曜日の11時と14時 *観覧料：1人100円

◎星を見る会「月を見よう」

月面の迫力あるクレーター群を眺めます。

日時：5月12日(金)19時~20時30分

場所：科学教室・屋上

◎漂着物を拾う会

日時：5月13日(土)9時半~11時

場所：虹ヶ浜海岸

申込：自由参加ですが、初めて参加される方は往復ハガキで申し込んでください。集合場所等案内をお送りします。

◎ろばたばなし

展示室民家で相模地方の伝説と昔話を聞きますか?

日時：5月21日(日)13時30分、15時

場所：1階展示室民家 参加自由

○みんなで調べよう「平塚のカタツムリ」

市内に分布しているカタツムリの種類を調べます。予備知識は必要ありません。

日時：5月20日(土)14時~16時 ガイダンス

6月11日(日)9時~15時 野外観察

7月9日(日)14時~16時 まとめ

申込：5月10日までに往復ハガキで。

○自然観察会「アオバトの観察」

丹沢から大磯町照ヶ崎海岸に飛来するアオバトを観察します。

日時：5月28日(土)8時~11時

場所：大磯町照ヶ崎

申込：5月10日までに往復ハガキで。40名まで。

★休館のお知らせ

6月6日~15日の間、博物館資料保存のための燻蒸作業くんじょうを行うため、博物館は休館します。ご了承ください。

☆：展示(無料)・プラネタリウム(観覧料) ○：申込制 ◎：自由参加 無印：年間会員制

あなたと博物館 25巻 2号 通巻280号 発行 平塚市博物館 2800

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 TEL:0463-33-5111 FAX:0463-31-3949